

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	056 -	事業名	社会体育団体補助事業			担当部課	くらし文化部生涯学習課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち				会計区分	一般会計			
	まちづくり行程表・フラッグ	—					予算区分(款 - 項 - 目)			
	第6次総合計画・基本目標	—				9-5-1 保健体育費				
	法定受託事務の有無	—								
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市補助金等交付規則、長久手市社会教育関係団体補助金交付要綱								
	事業開始の背景、経緯等	昭和57年度以前～								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 社会体育団体に対し、社会体育に関する事業、研究、交流事業等に要する経費に対し、要綱に基づいて交付する。								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の社会体育関係団体								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民団体の活発な活動を促進する。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 社会体育(教育)団体補助事業	改善・見直し	④						
	②			⑤						
	③			⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	事業費(A)	千円	予算	6,843	8,312	7,482	7,390	7,416		
			決算	7,051	7,331	7,300	7,460			
	人件費(B)	千円	決算	-	1,451	1,530	1,033			
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	8,782	8,830	8,493				
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	A 補助団体の会員数(総数)	人	目標	5,400	5,500	5,600	5,600	5,800		
			実績	5,354	5,402	5,571	5,746			
	B		目標							
	C		目標							
	C		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)										
A 前年度実績を上回るように目標設定する。										
B										
C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施。									
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 会員数は増加傾向にあり、平成30年度は目標値を上回った。								
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 補助金により、それぞれの団体の活動を支援し、会員数は増加傾向にある。								
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 団体活動の発展に寄与するように補助金を交付しているが、各団体による自己資金・自主財源等の確保にも努めてほしいと考える。								
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 各団体の会員数を増加させ、活動を促進する。								
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 各団体の会員数を増加させ、活動を促進する。また、自主財源等の確保を促進する。								

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	社会体育団体補助事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	①	社会体育（教育）団体補助事業	予算区分	9-5-1 保健体育費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和57年度以前～	終了（予定）年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内で活動している社会体育関係団体に対して、補助金を交付することで、社会体育事業の自主的な運営を支援する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	6,843 7,051	8,312 7,331	7,482 7,300	7,390 7,460	7,416
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 体育協会補助金						2,400	千円
(2) スポーツ施設利用補助金						2,308	千円
(3) スポーツ振興補助金						1,602	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
補助団体の会員数	人	見込	5,400	5,500	5,600	5,600	5,800
		実績	5,354	5,402	5,571	5,746	
		見込 実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
社会体育団体に対し、社会体育に関する事業、研究、交流事業等に要する経費に対し、要綱に基づいて交付する。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

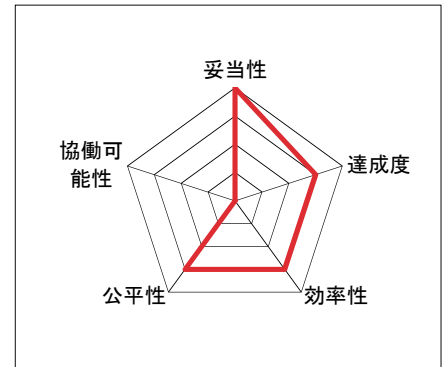
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
7,390 千円	7,416 千円	26 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】		
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
各団体の事業チラシ等を積極的に館内に掲示し、団体PRを行った。		

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	—	—
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民協働する事業でないため、評価できない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
各団体の事業チラシ等を積極的に館内に掲示し、団体PRを行った。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
各団体が自己資金、自主財源等の確保できるように促す。

7. 今後の方向性

改善・見直し